# 2022年12月期 第1四半期
# 決算説明資料

協和キリン株式会社

# アジェンダ

| | |
|---|---|
| 財務レビュー | 常務執行役員 財務経理部長 川口元彦 |
| コマーシャルアップデート | 執行役員 戦略本部グローバル製品戦略部長 須藤友浩 |
| R&Dアップデート | 執行役員 研究開発本部長 鳥居義史 |
| 2022年のニュース | 常務執行役員 戦略本部長 山下武美 |

| | |
|---|---|
| Q&A | 常務執行役員 戦略本部長 山下武美<br>常務執行役員 財務経理部長 川口元彦<br>執行役員 研究開発本部長 鳥居義史<br>執行役員 戦略本部グローバル製品戦略部長 須藤友浩 |

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

本資料には、当社（国内外の連結子会社を含む）の見通し、目標、計画など、将来に関する記述が含まれています。これら将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報や予測をもとになされた当社の合理的な判断に基づくものですが、実質的にこれら記述とは大きく異なる結果を招く不確実性を含んでいます。

これら不確実性には、国内外製薬業界の事業活動に潜在するリスク、知的財産権にかかるリスク、副作用に関するリスク、法的規制リスク、製品の欠陥等の発生リスク、原燃料価格の変動リスク、製品市況価格の変動リスク、為替・金融市場の変動リスクなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本資料は、投資家の皆様に向けて情報を提供することを目的としたものであり、内容には医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、宣伝広告や医学的アドバイスを目的としているものではありません。

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

# 財務レビュー

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

# Q1決算サマリー

(単位は億円、単位未満四捨五入)

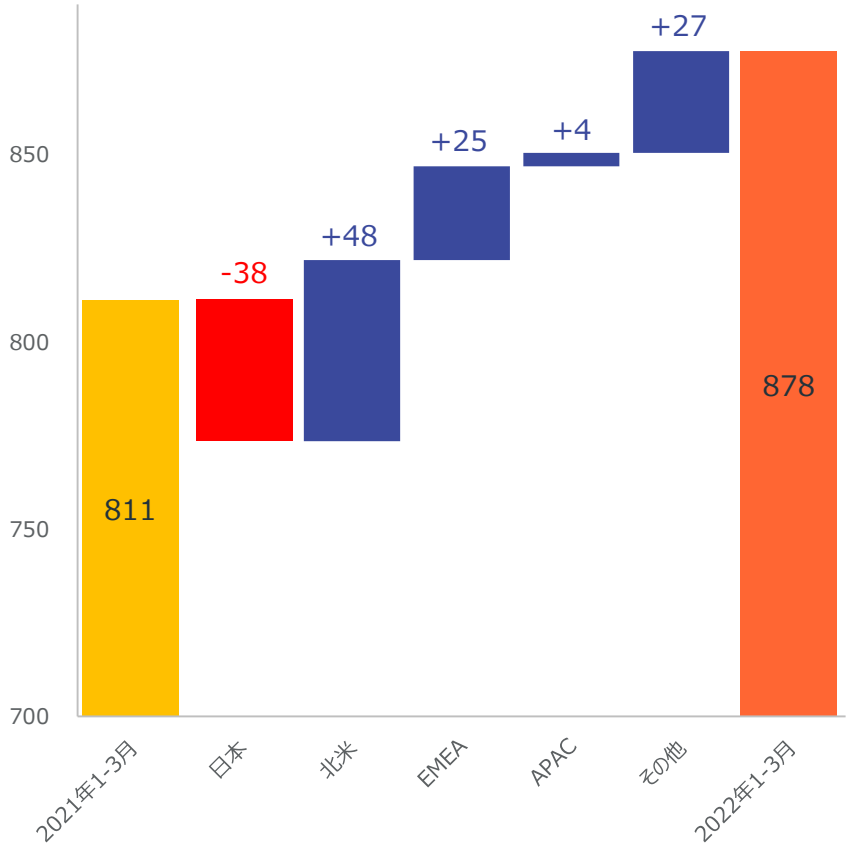
| | 2021年 Q1実績 | 2022年 Q1実績 | 増減 | 2022年 予想 | 進捗率 |
|---|---|---|---|---|---|
| 売上収益<br>[海外売上比率] | 811<br>[50%] | 878<br>[58%] | +66 (+8%) | 3,800<br>[59%] | 23% |
| 売上総利益<br>[売上総利益率] | 587<br>[72%] | 656<br>[75%] | +69 (+12%) | 2,980<br>[78%] | 22% |
| 販売費及び一般管理費<br>[販管費率] | 317<br>[39%] | 361<br>[41%] | +44 (+14%) | 1,640<br>[43%] | 22% |
| 研究開発費<br>[研究開発費率] | 122<br>[15%] | 136<br>[16%] | +14 (+12%) | 700<br>[18%] | 19% |
| 持分法投資損益 | 6 | 14 | +8 (+126%) | 30 | 48% |
| コア営業利益<br>[コア営業利益率] | 155<br>[19%] | 173<br>[20%] | +18 (+12%) | 670<br>[18%] | 26% |
| 四半期利益 | 129 | 160 | +31 (+24%) | 530 | 30% |

※ ロシア／ウクライナでの事業展開や当該国からの原材料調達はないことから、当面の当社事業への直接的影響はありません。

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

# 前年対比分析～売上収益～

**売上収益 +66億円**
**(うち為替 +36億円)**




- **日本 -38億円**
  ダーブロック・クリースビータなど新製品群が伸長したものの、2021年4月の薬価改定影響や後発品が発売されたパタノールの大幅減収により、日本リージョンは38億円の減収。

- **北米 +48億円 (うち為替+16億円)**
  Crysvita・Poteligeo・Nourianzがそれぞれ売上を伸ばし、北米リージョンは48億円の増収。

- **EMEA +25億円 (うち為替+10億円)**
  後発品の影響によりAbstralが減収となるも、Crysvita・Poteligeoが売上を伸ばし、EMEAリージョンは25億円の増収。

- **APAC +4億円 (うち為替+5億円)**
  中国集中購買制度の影響でRegparaが減収となるも、Gran・Neulasta・Nesp等が売上を伸ばし、APACリージョンは4億円の増収。

- **その他 +27億円 (うち為替+5億円)**
  ファセンラ(ベンラリズマブ)売上ロイヤルティの増加およびKHK4083共同開発・販売契約一時金$400Mの繰延収益の増加(2021年7月より収益計上開始)により、その他は27億円の増収。

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

# 主要アイテムの売上収益(日本)

(単位は億円、単位未満四捨五入)

| 製品名など | 2021年 Q1実績 | 2022年 Q1実績 | 前年比 | 増減要因 | 2022年 予想 | 進捗率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ネスプ+ネスプAG[*1] | 65 | 52 | -12 (-19%) | 薬価改定・競合品影響 | 195 | 27% |
| ネスプ | 10 | 8 | -1 (-13%) | | 31 | 27% |
| ネスプAG | 55 | 44 | -11 (-20%) | | 164 | 27% |
| ダーブロック | 2 | 11 | +9 (+570%) | 市場浸透(2020.8発売) | 55 | 20% |
| レグパラ | 7 | 5 | -2 (-23%) | | 24 | 21% |
| オルケディア | 21 | 22 | +1 (+5%) | | 100 | 22% |
| ジーラスタ | 66 | 71 | +5 (+8%) | 市場回復・市場浸透 | 315 | 23% |
| ポテリジオ | 5 | 5 | -0 (-1%) | | 19 | 24% |
| リツキシマブBS | 26 | 25 | -1 (-4%) | 薬価改定 | 97 | 26% |
| ロミプレート | 15 | 22 | +7 (+44%) | 出荷調整(2020.6-2021.3)からの回復 | 100 | 22% |
| アレロック | 29 | 24 | -5 (-17%) | 競合品影響・薬価改定 | 66 | 37% |
| パタノール | 65 | 18 | -47 (-72%) | 競合品影響(2021.12後発品発売) | 39 | 47% |
| ノウリアスト | 19 | 18 | -1 (-7%) | | 84 | 21% |
| ハルロピ | 6 | 8 | +2 (+38%) | 市場浸透(2019.12発売) | 55 | 14% |
| クリースビータ | 15 | 20 | +5 (+31%) | 市場浸透(2019.12発売) | 100 | 19% |
| 技術収入 | 6 | 1 | -5 (-81%) | FKB[*2]一時金収益繰延終了 | 10 | 12% |

*1　正式名はダルベポエチンアルファ注シリンジ「KKF」。製造販売元は協和キリンフロンティア株式会社、販売元は協和キリン株式会社。　*2　正式社名は協和キリン富士フイルムバイオロジクス株式会社。

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

# 主要アイテムの売上収益(海外)

(単位は億円、単位未満四捨五入)

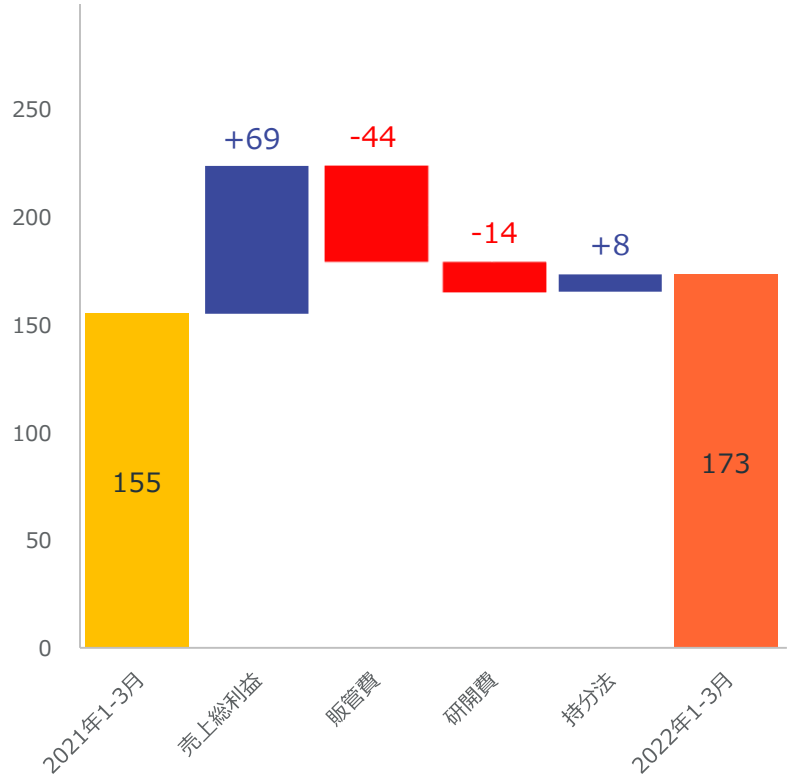
| 製品名など | 2021年 Q1実績 | 2022年 Q1実績 | 前年比 | 増減要因 | 2022年 予想 | 進捗率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| Crysvita | 163 | 222 | +60 (+37%) | [北米]<br>市場浸透<br>[EMEA]<br>上市国拡大・適応拡大(成人)<br>[APAC]<br>中国上市 | 1,052 | 21% |
| 北米 | 117 | 158 | +41 (+35%) | | | |
| EMEA | 45 | 63 | +18 (+40%) | | | |
| APAC | – | 0 | +0 (–) | | | |
| Poteligeo | 32 | 42 | +11 (+34%) | [北米]<br>市場浸透<br>[EMEA]<br>上市国拡大・市場浸透 | 225 | 19% |
| 北米 | 26 | 33 | +7 (+27%) | | 150 | 22% |
| EMEA | 6 | 9 | +4 (+67%) | | 76 | 12% |
| Nourianz | 10 | 11 | +2 (+19%) | 市場浸透 | 66 | 17% |
| Abstral | 18 | 14 | -4 (-22%) | 後発品影響 | 67 | 21% |
| Regpara | 22 | 10 | -13 (-56%) | 2021.10<br>中国で集中購買*1の対象に | 37 | 26% |
| 技術収入 | 49 | 77 | +27 (+55%) | KHK4083契約一時金繰延収益<br>(2021.7~)・ファセンラ伸長 | 343 | 22% |
| ベンラリズマブ ロイヤルティ*2 | 38 | 47 | +9 (+24%) | | | |

*1　中国で医療費削減を目的に2018年に導入された医薬品調達プログラム(VBP; Volume-Based Procurement)。入札により2-5社程度の企業だけに供給が委託される一方、価格は大幅に下落する。
*2　アストラゼネカ社が販売するファセンラの売上ロイヤルティ(当社独自の見積もりを含む)
※　主要アイテムの売上収益には、Early Access Program (EAP) による収益は含まれておりません。

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

# 前年対比分析～コア営業利益～

**コア営業利益 +18億円**
**(うち為替 +12億円)**




- **売上総利益 +69億円 (うち為替+33億円)**
  売上収益増加(+66億円)に伴う増益。前年同期は棚卸資産未実現利益消去にかかる為替影響が大きかったこともあり、売上総利益率は2.4%の改善(72.4%→74.7%)。

- **販売費及び一般管理費 -44億円 (うち為替-17億円)**
  Crysvita北米プロフィットシェア費用の増加に加え、グローバル戦略品の価値最大化とグローバルな事業基盤の早期確立に向けたITデジタル基盤や人材への積極的な投資により増加。
  [人件費-26、販促費-18(Crysvita北米プロフィットシェア費用-14)、減価償却費・償却費+2、その他-2]

- **研究開発費 -14億円 (うち為替-5億円)**
  ME-401、KHK4083/AMG 451等の開発費用が増加。

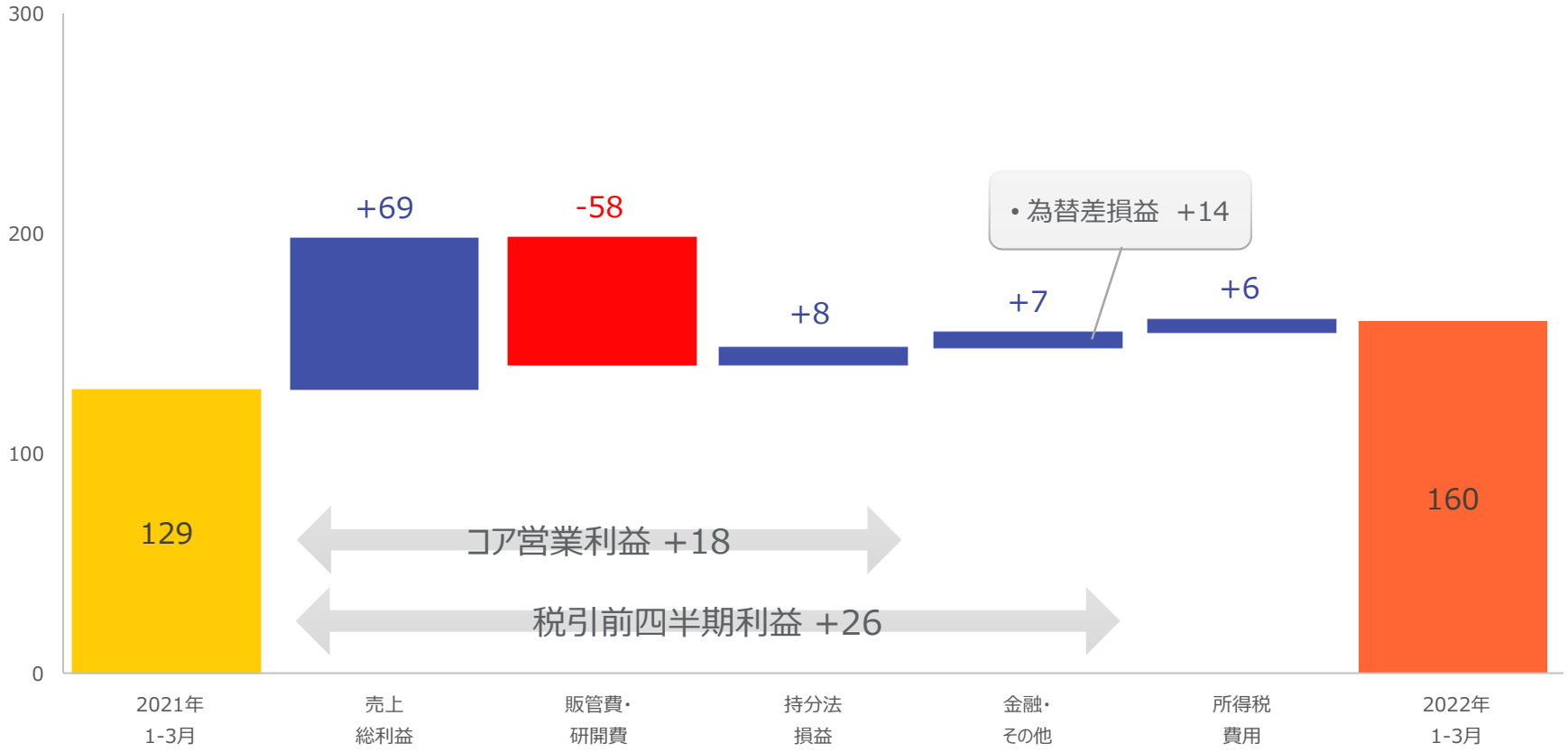
- **持分法投資損益 +8億円**
  FKB：繰延税金資産の追加計上等により。

※FKB：協和キリン富士フイルムバイオロジクス株式会社

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

# 前年対比分析～四半期利益～

## 四半期利益(1-3月) +31億円

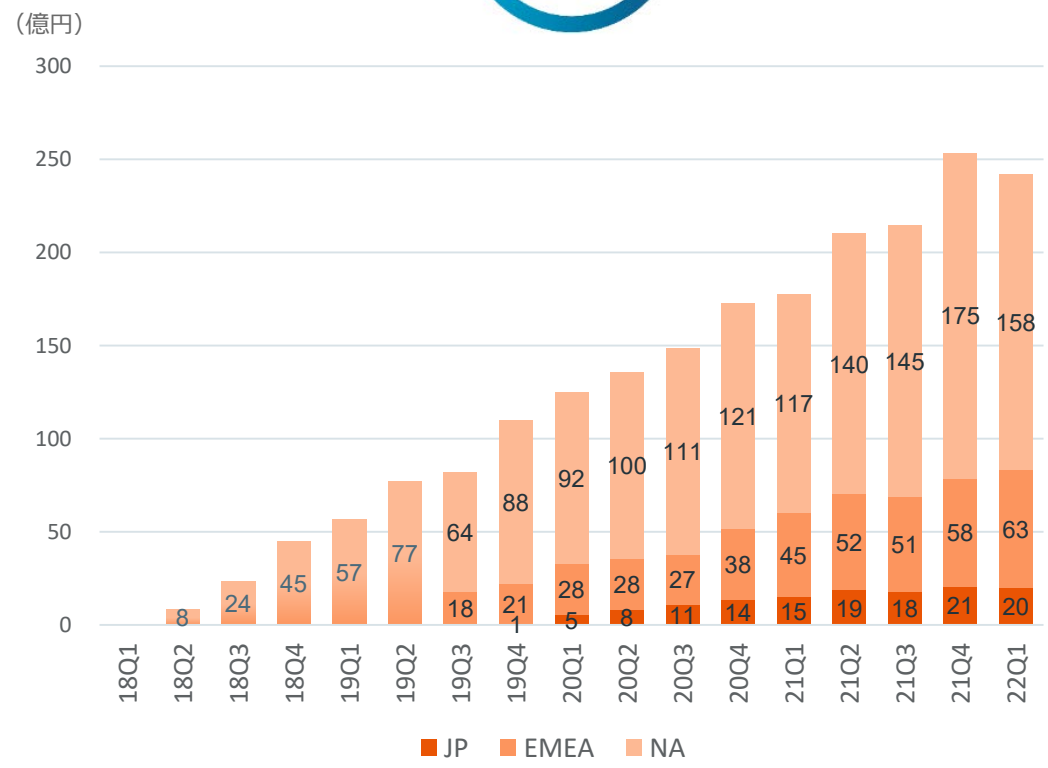



© Kyowa Kirin Co., Ltd.

# コマーシャルアップデート

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

# Crysvita・クリースビータ




*EAP (Early Access Program) による収益は含まず

## 2022年キーアクション・2022年Q1トピックス

2022年 キーアクション
- 北米： 2023年春の販売移管に向けた準備を本格化
- EMEA：引き続き上市国・適応拡大に注力。TIO審査完了予定

2022年第１四半期 トピックス
- 北米： 卸による2021年末買い込みの反動
  販売移管に向けた準備は計画通り進捗
- EMEA：ポルトガルで小児上市、フランス・イスラエルで成人上市を達成
- 日本： 売上収益は、概ね年初計画通り推移

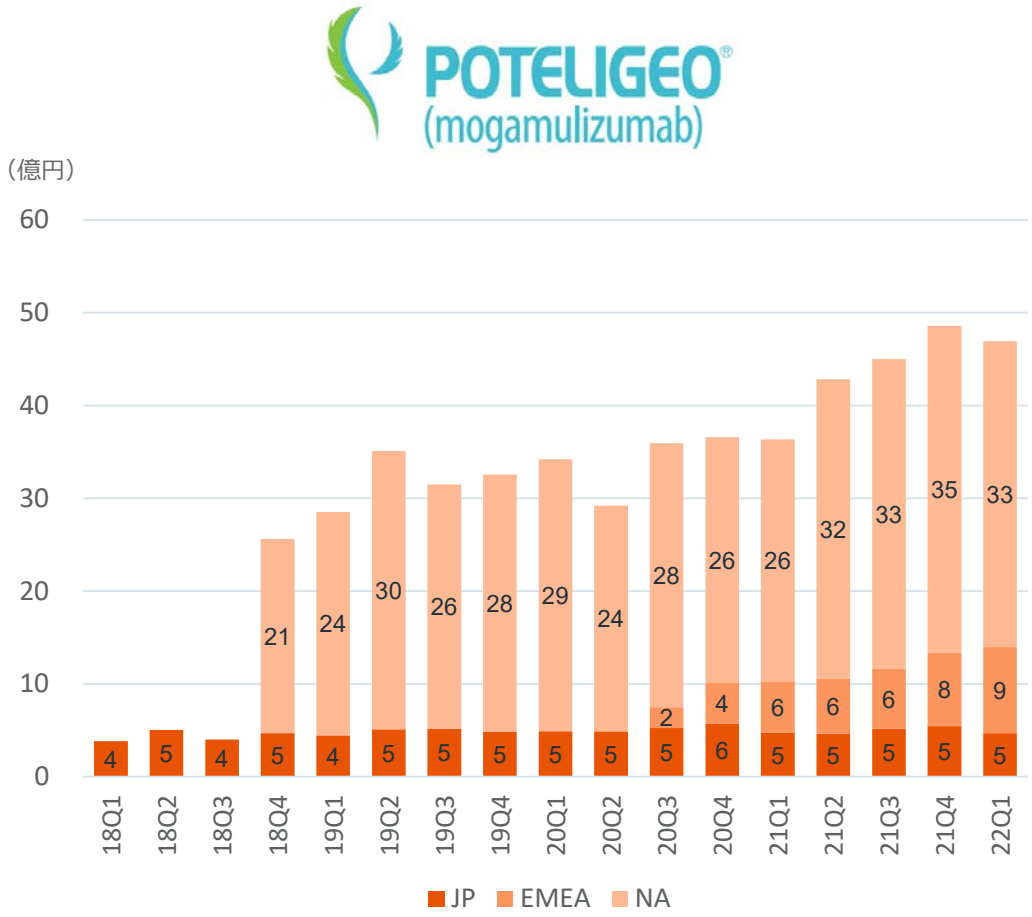
## 上市国・地域（2022年3月末現在、南米除く）

下線は小児・成人上市国、太字は第1四半期の新規上市

2018年 アメリカ、ドイツ、オランダ、ルクセンブルク
2019年 カナダ、イングランド、ウェールズ、北アイルランド、スロバキア、スウェーデン、**イスラエル**、UAE、チェコ、デンマーク、イタリア、日本、ノルウェー、バーレーン、オーストリア
2020年 スコットランド、オマーン、クウェート、カタール、ルーマニア、スロベニア、**フランス**、フィンランド、エストニア、スペイン
2021年 アイルランド、ハンガリー、ベルギー、サウジアラビア、香港、中国、シンガポール
2022年 **ポルトガル**

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

# Poteligeo・ポテリジオ




*EAP (Early Access Program) による収益は含まず

## 2022年キーアクション・2022年Q1トピックス

2022年 キーアクション
- 販売国増加に向け、引き続き保険償還交渉を継続
- 血液腫瘍データをはじめとするエビデンスをフル活用したプロモーション実施

2022年第１四半期 トピックス
- EMEA：COVID-19影響による保険償還交渉の難航、プロモーション活動の制限などあるものの着実に成長
  フランス保険償還妥結、Q2上市見込み

## 上市国（2022年3月末現在）

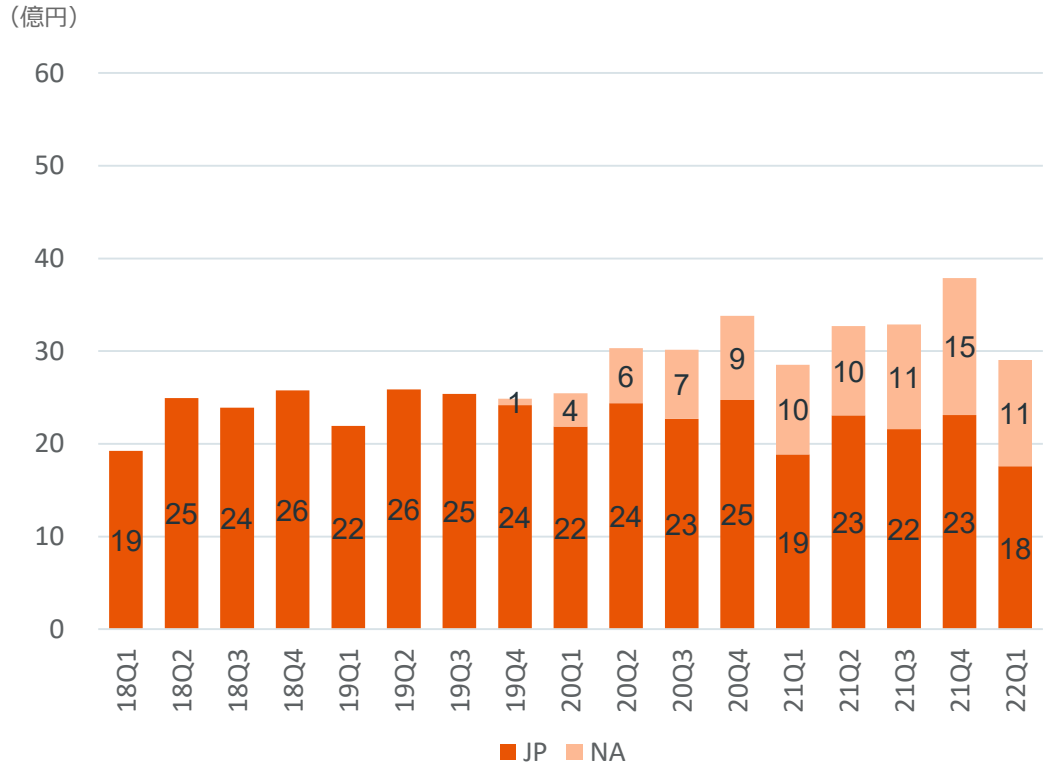
太字は第1四半期の新規上市

2012年　日本
2018年　アメリカ
2020年　ドイツ、オーストリア、ルクセンブルク
2021年　イタリア、スコットランド、オランダ、ベルギー、スロベニア、デンマーク、スペイン、フィンランド
2022年　**スウェーデン、サウジアラビア、スロバキア、イングランド、ウェールズ、北アイルランド**

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

# Nourianz・ノウリアスト

NOURIANZ®
(istradefylline) tablets




## 2022年キーアクション・2022年Q1トピックス

2022年 キーアクション
- 北米：ターゲット処方医へのアプローチを確実にし、薬剤の特徴である使いやすさ(利便性・安全性)と作用機序(非ドパミン系)の浸透を図る

2022年第１四半期 トピックス
- 北米：メディケア保険の年始リセットによる自己負担割合の増加、薬局による2021年末買い込みの反動
  医師／患者向け講演会を積極的に展開中、対面訪問の増加、ペイドデジタルメディアによる広告・プロモーションを実施

## 上市国（2022年3月末現在）

2013年　日本
2019年　アメリカ

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

# R&Dアップデート

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

# 次世代戦略品のニュースフロー

| 開発コード<br>一般名 | イベント | 予想時期 | 達成時期 |
|---|---|---|---|
| **KHK4083/AMG 451**<br>rocatinlimab | アトピー性皮膚炎　P3 FPI | 2022年 中頃 | |
| **KW-6356** | パーキンソン病　P3 FPI<br>パーキンソン病　P2b 詳細データ | 2022年 下期<br>2022年 下期 | |
| **ME-401**<br>ザンデリシブ | CLL (併用、2L+)　P2 FPI<br>FL (単剤、3L+)　P2 詳細データ*<br>iB-NHL (単剤、3L+)　P2 トップラインデータ (JP) | 2022年 上期<br>2022年 中頃<br>2022年 下期 | |
| **RTA 402**<br>バルドキソロンメチル | 糖尿病性腎臓病　P3 LPO | 2022年 下期 | |
| **KHK7791**<br>テナパノル塩酸塩 | 透析施行中の高リン血症　申請 (JP) | 2022年 下期 | |

*: 2021年11月30日に公表したP2データのより完全な報告を提供する予定; FPI: first patient in, 最初の患者登録日; LPO: last patient out, 最終の患者観察日; CLL: chronic lymphocytic leukemia, 慢性リンパ性白血病; FL: follicular lymphoma, 濾胞性リンパ腫; iB-NHL: indolent B-cell non-Hodgkin's lymphoma, 低悪性度B細胞性非ホジキンリンパ腫

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

# アップデート: ザンデリシブ US開発方針

■ 外部環境

- 血液がんを対象とした単群試験のデータをもとに、これまで複数のPI3K阻害剤がFDAから迅速承認を得ている。
- 2021年末前後に複数の企業が、FDAとの協議を経て、迅速承認で上市済み/申請中のPI3K阻害剤の適応/申請を自主的に取り下げた。
- 2022年4月のFDAの抗腫瘍薬諮問委員会（Oncology Drug Advisory Committee）での議論の結果、血液がんを対象とした同クラス薬剤のリスク・ベネフィットを評価するためには、ランダム化比較試験を実施すべきとの見解が示された。

■ 開発方針

- ザンデリシブは、先行薬と同じく単群デザインのフェーズ２（TIDAL）試験データを用いた迅速承認を目指していた。
- 2022年3月に、FDAから「単群のTIDALデータのみでの申請を推奨しない」という見解が示されたことから、現在実施中のランダム化比較試験であるフェーズ３（COASTAL）試験に注力する。並行してFDAとの議論も継続していく。

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

# 2022年のニュース

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

# 2022年初来の主なニュース

2022年5月10日現在

| 分類 | 公表日 | 地域 | ニュース概要 |
|---|---|---|---|
| ESG | 1/11 | 日本 | 富士リサーチパーク・CMC研究センターへ「アクアプレミアム」導入 |
| LCM | 1/31 | 日本 | 眼科用外用マイトマイシンC製剤の製造販売承認申請 |
| ESG | 2/3 | グローバル | グローバルDE&I宣言を策定 |
| LCM | 2/25 | 日本 | ジーラスタの承認事項一部変更承認取得<br>（同種末梢血幹細胞移植のための造血幹細胞の末梢血中への動員） |
| ESG | 3/9 | 日本 | 健康経営銘柄に初選定 |
| LCM | 3/23 | 日本 | ヒスロン錠5の承認事項一部変更承認取得 |
| R&D | 3/31 | グローバル | FDAとの協議を踏まえたザンデリシブの米国での開発の見通しについて |
| LCM | 4/4 | 日本 | ジーラスタの国内臨床試験に関する論文発表<br>（自動投与デバイス使用における安全性を確認） |
| | | | |

**前回の決算からのアップデート**

ESG: 環境・社会・ガバナンス; LCM: ライフサイクルマネジメント

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

# Appendix

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

# 為替関連情報

## 期中平均為替レート

| | 2021年Q1実績 | 2022年Q1実績 | 前年比 | 2022年通期予想 |
|---|---|---|---|---|
| 米ドル　(USD/円) | 105円 | 114円 | +9円 | 110円 |
| 英ポンド (GBP/円) | 143円 | 154円 | +11円 | 150円 |

## 2022年Q1 為替影響額 (前年対比)

| | 売上収益 | コア営業利益 |
|---|---|---|
| 米ドル　(USD/円) | +20億円 | +6億円 |
| 英ポンド (GBP/円) | +10億円 | +2億円 |

## 2022年度 為替感応度

| | 変動 | 売上収益 | コア営業利益 |
|---|---|---|---|
| 米ドル　(USD/円) | 1円安 | +11億円 | +3億円 |
| 英ポンド (GBP/円) | 1円安 | +4億円 | +1億円 |

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

# Crysvita ～Ultragenyx社とのコラボレーション～

| | 経済条件 |
|---|---|
| アメリカ・カナダ | • 協和キリンが売上計上<br>• 発売後5年間は50/50プロフィットシェア<br>• 発売後6年目からはUltragenyxに段階的な販売ロイヤルティ支払い(20%台中～後半)<br>• 製品供給価格は2022年度までは売上の35%、以降は30% |
| ヨーロッパ | • 協和キリンが売上計上<br>• Ultragenyxに10%以下の販売ロイヤルティ支払い<br>※Ultragenyxは販売ロイヤルティを受け取る権利をRoyalty Pharmaに譲渡(2020年度～) |
| ラテンアメリカ | • Ultragenyxが売上計上<br>• 協和キリンは販売ロイヤルティ受け取り(1桁%台前半)<br>• 製品供給価格は2022年度までは売上の35%、以降は30% |
| トルコ | • Ultragenyxが売上計上<br>• 協和キリンは販売ロイヤルティ受け取り(20%以下) |
| アジア・その他 | • 協和キリンが売上計上 |

※すべての地域において製品供給は協和キリンが行う。

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

# KHK4083/AMG 451 ～Amgen社とのコラボレーション～

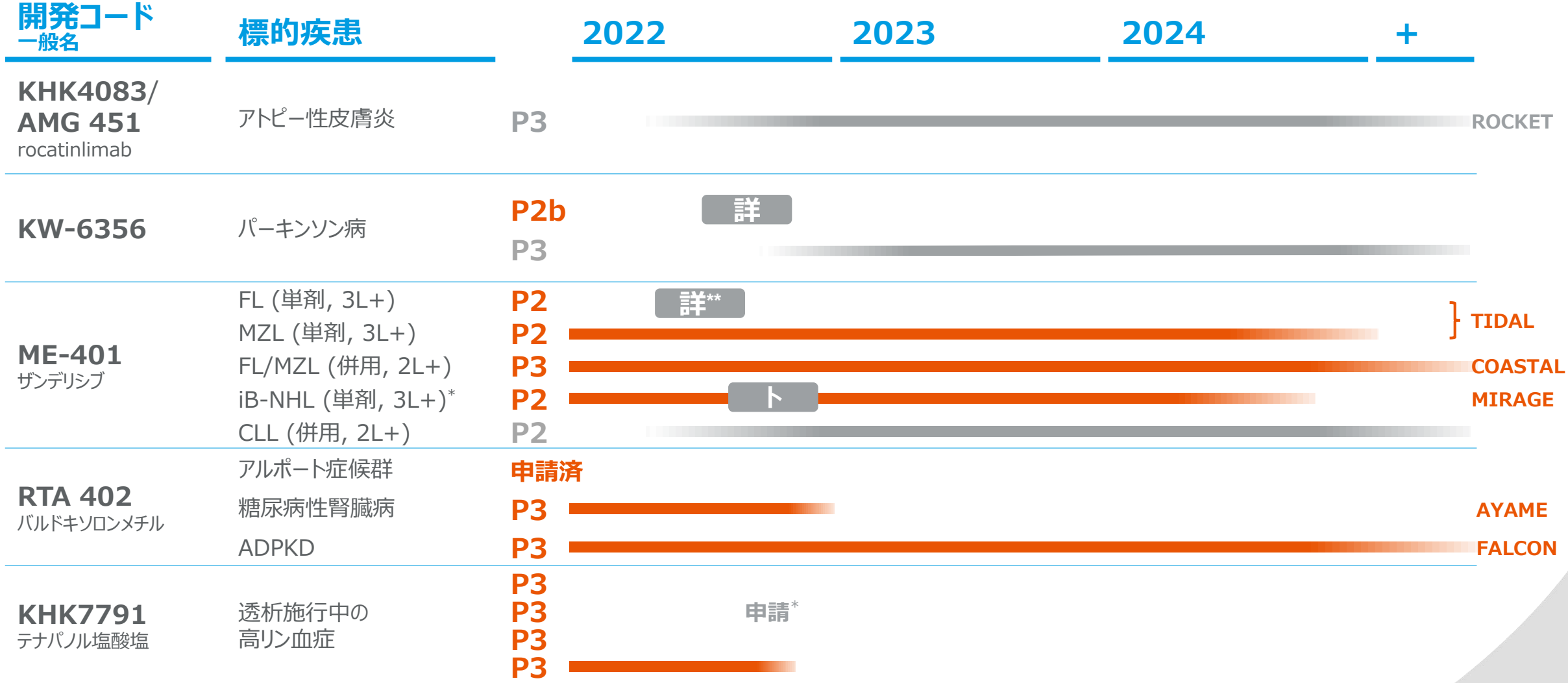
| | アメリカ | 欧州、アジア (日本を除く) | 日本 |
|---|---|---|---|
| **開発** | • Amgenが治験主導<br>• 開発コストは両社で折半 | • Amgenが治験主導<br>• 開発コストは両社で折半 | • 協和キリンが治験主導 |
| **販売** | • Amgenが販売、売上計上<br>• 協和キリンはコプロモーション、費用は両社で折半 | • Amgenが販売、売上計上<br>• 協和キリンはコプロモーションのオプトイン権利を保有 | • 協和キリンが販売、売上計上 |
| **売上ロイヤルティ** | • 協和キリンは2桁%台の売上ロイヤルティを受領 | • 協和キリンは2桁%台の売上ロイヤルティを受領 | |
| **製品供給** | • Amgen | • Amgen | • 協和キリン |

協和キリンは、契約一時金 (400百万ドル、受領済み) のほか、今後、条件に応じたマイルストン収入 (累計で最大850百万ドル) と売上ロイヤルティをAmgen社より受領予定

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

# 次世代戦略品の開発予定

ト：トップラインデータ　詳：詳細データ　2022年5月10日現在




*:日本; **:2021年11月30日に公表したP2データのより完全な報告を提供する予定; FL:濾胞性リンパ腫; MZL:辺縁帯リンパ腫; iB-NHL:低悪性度B細胞性非ホジキンリンパ腫; CLL:慢性リンパ性白血病; ADPKD:常染色体優性多発性嚢胞腎; 2L+: 2次治療以降; 3L+: 3次治療以降

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

# 推定患者数

| 疾患 | 国/地域 | 発生率 | 有病率* | 出典 |
|---|---|---|---|---|
| ATL | 日本 | 1,150 / 年 | | 本邦におけるHTLV-1感染及び関連疾患の実態調査と総合対策 平成21年度総括研究報告書 (山口一成、平成22年3月) |
| PTCL | 日本 | | 2,000 | 厚生労働省 平成29年患者調査、傷病基本分類別 |
| CTCL | 日本 | | 2,000 | 厚生労働省 平成29年患者調査、傷病基本分類別 |
| | 米国 | 1,500 / 年 | | SEER Data (2001-2007) |
| XLH | 日本 | 1:20,000 | 成人: 5,000<br>小児: 1,000 | 本疾患の推定発症率に基づく概算; Nationwide survey of fibroblast growth factor 23 (FGF23)-related hypophosphatemic diseases in Japan: prevalence, biochemical data and treatment. (Endo I et al., Endocr J., 2015) |
| | 欧州 | 1:20,000 | 成人: 12,000<br>小児: 3,000 | 本疾患の推定発症率に基づく概算 |
| | 米国 | 1:20,000 | 成人: 12,000<br>小児: 3,000 | 本疾患の推定発症率に基づく概算; New perspectives on the biology and treatment of X-linked hypophosphatemic rickets. (Carpenter TO, Pediatr Clin North Am., 1997) |
| TIO | 日本 | | 30 | 2010年 厚生労働省 ホルモン受容機構異常に関する疫学調査研究 |
| | 米国 | | 500-1,000 | Ultragenyx社調査 |
| AD | 日本、北米、欧州 | | 30,000,000 | Decision Resources社調査 |
| PD | 日本 | | 162,000 | 厚生労働省 平成29年患者調査、傷病基本分類別 |
| | 米国 | 60,000 / 年 | ~1,000,000 | Parkinson's Foundation（2022年2月現在）から引用 https://www.parkinson.org/Understanding-Parkinsons/Statistics |
| FL | 米国 | 15,000 / 年 | | Cancer.net（2022年2月現在）から引用 https://www.cancer.net/ |
| | 日本 | 6,750 / 年 | | 国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（全国がん登録）; Epidemiology of malignant lymphoma and recent progress in research on adult T-cell leukemia/lymphoma in Japan (Miyoshi H et al., Int J Hematol, 2018) |
| MZL | 米国 | 6,000 / 年 | | Lymphoma.org（2022年2月現在）から引用 https://lymphoma.org/ |
| | 日本 | 1,060 / 年 | | 国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（全国がん登録）; Epidemiology of malignant lymphoma and recent progress in research on adult T-cell leukemia/lymphoma in Japan (Miyoshi H et al., Int J Hematol, 2018) |
| AS | 日本 | | 1,200 | 難病情報センターホームページ（2022年2月現在）から引用 https://www.nanbyou.or.jp/entry/4348 |
| ADPKD | 日本 | | 31,000 | 難病情報センターホームページ（2022年2月現在）から引用 https://www.nanbyou.or.jp/entry/295 |
| CKD | 日本 | | 13,300,000 | 日本腎臓学会 CKD診療ガイド2012 |
| CKD (透析) | 日本 | 40,885 / 年 | 344,640 | 日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況（2019年末）」 |

* 有病率は国または地域の全人口あたりの推定人数

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

# 略語集

| | | |
|---|---|---|
| AD | Atopic Dermatitis | アトピー性皮膚炎 |
| ADPKD | Autosomal Dominant Polycystic Kidney Disease | 常染色体優性多発性嚢胞腎 |
| AG | Authorized Generic | オーソライズド・ジェネリック |
| AS | Alport Syndrome | アルポート症候群 |
| ATL | Adult T-Cell Leukemia/Lymphoma | 成人T細胞白血病リンパ腫 |
| BS | Biosimilar | バイオ後続品 |
| CKD | Chronic Kidney Disease | 慢性腎臓病 |
| CLL | Chronic Lymphocytic Leukemia | 慢性リンパ性白血病 |
| DKD | Diabetic Kidney Disease | 糖尿病性腎臓病 |
| FL | Follicular Lymphoma | 濾胞性リンパ腫 |
| iB-NHL | Indolent B-cell Non-Hodgkin’s Lymphoma | 低悪性度B細胞性非ホジキンリンパ腫 |
| LCM | Lifecycle Management | ライフサイクルマネジメント |
| MZL | Marginal Zone Lymphoma | 辺縁帯リンパ腫 |
| PD | Parkinson’s Disease | パーキンソン病 |
| PTCL | Peripheral T-Cell Lymphoma | 末梢性T細胞リンパ腫 |
| TIO | Tumor Induced Osteomalacia | 腫瘍性骨軟化症 |
| XLH | X-linked Hypophosphatemia | X染色体連鎖性低リン血症 |

© Kyowa Kirin Co., Ltd.

～本資料のお問合せ先～

協和キリン株式会社
コーポレートコミュニケーション部 IRグループ
03-5205-7206 / ir@kyowakirin.com